

# 事業報告書

第 14 期 (2015 年度)

自 2015 年 4 月 1 日

至 2016 年 3 月 31 日

京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 番地  
特定非営利活動法人 リボン・京都

## 第 14 期 (2015 年度) 事業報告

特定非営利活動法人 リボン・京都

### I. 事業成果の概要

ルワンダでの洋裁技術訓練事業も最終年である三年目の後半に入り、訓練生の作品が京都の事務局に送られて来る度に、高度な洋裁技術が身に付き上達した様子が解り、みんなで成果を喜んでいます。

事業を開始した三年前は、国内失業率 60%とも言われていましたが、一年ごとに洋裁訓練を修了した訓練生達が独立して縫製工場に就職したり、キガリ市の協力を得て組合を設立し、独自で商品を製作して、国内の市場で販売しています。また、個人で商品を製作、販売し、洋裁技術を活かして自立している報告も現地より受けております。

ガチュリロ職業訓練校では、三年間、当会事業のために、教室を始め電気水道を無償で借り、事業を実施することが出来たのも、同校校長先生のご協力があったお蔭と感謝しています。同訓練校が、リボン・京都の事業が終了した後も継続して運営されるように、洋裁教師も私達の手で育てました。また、高度な洋裁技術を学ぶために工業用ミシンを始め数々の洋裁用資機材を提供しましたので、今後活用されることと思います。

キガリ市内の別の職業訓練校での事業実施の要請がありました。しかし、今後、ガチュリロ職業訓練校が自立して生徒募集と授業料を徴収して洋裁訓練を実施する予定であり、当会が無償で他の訓練校で事業を実施すれば、訓練生が当会に集まり、ガチュリロ職業訓練校の自立を妨げることになるかと推察されます。よって、事業終了後は、要請のあった職業訓練校で事業を実施せず、当会が従来通り行っているフォローアップ訓練とフェアトレードによる支援をガチュリロ職業訓練校に対して実施していきたいと考えております。

1 月には、大阪コミュニティ財団の支援により、ラオス共和国サバナケート職業訓練校より当会が訓練した訓練修了生二名を招致し、京都の事務局にて洋裁責任者の中島先生より高度な洋裁訓練指導を行いました。また、高島屋京都店での当会チャリティ展示即売会の会場にて、ラオス民族服を着た訓練修了生がミシンを踏み手芸品製作のデモンストレーションを行い、お客様とラオス語の通訳を介して質問を受け、親しく交流することができました。合わせて、百貨店内のディスプレイ方法や商品を見学しました。京都市内の神社やお寺も訪れ、非常に有益な研修体験を実施することが出来ました。ラオス語の通訳には、京都在住のラオス人の方に縁があってお会いすることができ、今後、ラオスに関わる事業で継続してご協力いただけるとのことで大変喜んでいます。

ジェイアール京都伊勢丹でのチャリティ展示即売会を 5 月 9 日より開催しています。ルワンダ、ラオス、東日本大震災避難者および当会ボランティアの作品を出展しています。盛況でありますようお願いいたします。

理事長 小玉 昌代

## II. 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 洋裁指導事業

##### ① 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プログラム（フェーズ2）

実施期間	2014年7月1日～2015年6月30日		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市 ガチュロ職業訓練センター		
対象者	首都キガリの若年ユース貧困層 50名（16～35歳）		
従事者人数	事業従事者 13名（国内3名、海外2名、現地スタッフ8名） 国内作業従事者 27名 <現地派遣状況> 現地事業責任者、事業担当（洋裁技術） 各1名 2014年7月～2015年6月 ミシン保守専門家、ICTマーケティング専門家 各1名 2015年6月10日～6月21日		
助成金額	26,366,418円	助成元	外務省 NGO 連携無償資金協力
支出額	26,208,567円		
事業内容	フェーズ1に引き続き、ルワンダの首都キガリで若年貧困層（主に女性層）を対象に高度な日本の洋裁技術訓練を行い、雇用、収入の創出を目指す。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 高度な日本の洋裁技術訓練</li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT（Training of Trainer 専門家育成）</li> <li>▪ ビジネス強化ワークショップ</li> <li>▪ メイド・イン・ルワンダ 製品の開発実習</li> <li>▪ 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作</li> <li>▪ 適切なモニタリング・評価</li> <li>▪ 1年目修了生のフォローアップ</li> <li>▪ ミシンメンテナンス講習およびICT・マーケティング講習</li> <li>▪ 修了式および製作披露発表会</li> </ul>		
成果	<p>フェーズ2洋裁訓練には600名の応募があり、選抜試験を経て60名の訓練生で開始。50名が訓練を修了した。（※10名は大学進学や病気、家庭の事情により途中で自発的に訓練を辞退）。フェーズ2訓練では、着物地、ギテンゲ洋服合わせて12アイテムの作品を製作した。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 高度な日本の洋裁技術訓練の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平日4日 午前・午後に分かれ各クラス毎日4時間。1ヶ月平均64時間（1日4時間×週4日×4週間）の実習。</li> </ul> </li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT(Training of Trainer 専門家育成)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 週4日は日本人洋裁専門家の補佐として訓練に参加することで技術強化を図り、週1日は日本人洋裁専門家による集中的な洋裁論理面および技術面の強化を実施。合計、1ヶ月平均160時間（1日8時間×週5日×4週間）の育成。</li> </ul> </li> <li>▪ ビジネス強化ワークショップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ マーケティング、組合、起業等ビジネス面強化の講習を実施した。</li> </ul> </li> <li>▪ メイド・イン・ルワンダ 製品の開発実習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ルワンダの生地「ギテンゲ」を使い、ロングドレス、スカート、シャツなど6アイテムを製作した。</li> </ul> </li> <li>▪ 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作</li> </ul> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  <p>パターンを配置していくフェーズ2訓練生</p> </div> </div>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本語・英語・キニアルワンダ語の3か国語併記の洋裁テキストブック（フェーズ1からの改訂版）を製作し、訓練生全員に配布した。</li> <li>▪ 適切なモニタリング・評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カウンターパートであるガチュロ職業訓練センター校長との定期的なミーティングを実施し、特に訓練スピードと完成作品の品質における高い評価を得た。</li> </ul> </li> <li>▪ 1年目修了生のフォローアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1年目修了生を対象にフォローアップミーティングを実施し、就職状況、問題等についてヒアリングを行い、アドバイスを行った。</li> </ul> </li> <li>▪ ミシンメンテナンス講習およびICT・マーケティング講習 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本から専門家を短期派遣し実施した。</li> </ul> </li> </ul>
--	---

## ② 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プログラム（フェーズ3）

実施期間	2015年8月13日～2016年8月12日（以下は、3月31日までの実績）		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市 ガチュロ職業訓練センター		
対象者	首都キガリの若年ユース貧困層22名（16～35歳）		
従事者人数	事業従事者14名（国内3名、海外2名、現地スタッフ9名） 国内作業従事者27名 <現地派遣状況> 現地事業責任者、事業担当（洋裁技術） 各1名 2015年9月～2016年7月		
助成金額	26,864,679円	助成元	外務省 NGO 連携無償資金協力
支出額	15,133,040円（3月31日までの実績）		
事業内容	フェーズ1,2に引き続き、ルワンダの首都キガリで若年貧困層（主に女性層）を対象に高度な日本の洋裁技術訓練を行い、雇用、収入の創出を目指す。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 高度な日本の洋裁技術習得訓練</li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT（Training of Trainer 専門家育成）</li> <li>▪ プロダクションユニット結成</li> <li>▪ 1年目・2年目訓練修了生のフォローアップ</li> <li>▪ 品質評価および販売会議</li> </ul>		
成果	<実施内容(3月31日までの実績)> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 高度な日本の洋裁技術習得訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平日4日午前・午後に分かれ各クラス毎日4時間。1ヶ月平均64時間（1日4時間×週4日×4週間）の実習。</li> </ul> </li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT(Training of Trainer 専門家育成) <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 訓練生への洋裁指導開始前に、現地洋裁専門家および洋裁アシスタントへの集中トレーニングを実施。訓練開始後は、平日週4日は訓練生に教える側として訓練に従事。週1日は日本人洋裁専門家により集中的に洋裁論理面および技術面の強化を実施。合計、1ヶ月平均160時間（1日8時間×週5日×4週間）の育成訓練。</li> </ul> </li> <li>▪ プロダクションユニット結成 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ある程度の基礎力を既に持つ洋裁経験者をフェーズ3では訓練生として迎え、パターン（製図）製作を含めた更なる高度な技術指導を行う本上級コース（＝プロダクションユニット）には、フェーズ1,2修了生からは1名、新たな洋裁経験者20名の合計22名が参加している。</li> </ul> </li> </ul>	製図実習を行うフェーズ3訓練生 	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 1年目、2年目修了生のフォローアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1年目、2年目訓練修了生の現時点の生活、雇用状況の調査を行い、アドバイスをを行った。</li> </ul> </li> <li>▪ 品質評価および販売会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 訓練開始後2ヶ月ごとにカウンターパートであるガチュロ職業訓練センター責任者である校長と訓練状況や作品評価を実施し、高い評価を受けた。</li> </ul> </li> </ul>
--	---

### ③ ラオス・サバナケート県立職業訓練校のフォローアップ事業

実施期間	2015年7月～2016年3月		
実施場所	リボン・京都 日本事務局		
対象者	ラオス国サバナケート県 県立職業訓練校洋裁科 生徒31名、教員5名		
従事者人数	事業従事者4名（国内3名、現地コーディネータ1名） 国内作業従事者27名		
助成金額	500,000円	助成元	大阪コミュニティ財団
支出額	1,124,152円		
事業内容	サバナケート県立職業訓練校の洋裁科の洋裁教師に対して、日本での短期現場研修を実施し、日本の洋裁技術指導と販売体験、アパレル産業見学を通し、海外でも通用する洋裁技術・海外市場の知識を習得する機会を与える。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 教材を郵送しての洋裁技術確認および指導</li> <li>▪ 現地洋裁教師の日本での現場研修</li> <li>▪ 教材を郵送してのフォローアップ指導</li> </ul>		
成果	<p>今回の事業を通して、今まで教えてきた洋裁技術をしっかりと身に付けていることが確認できたと同時に、海外市場の状況を彼女達の中で見て肌で感じ、今後先進国へ向けた商品における広い視野を持つ良い機会となった。</p> <p>当会チャリティ展示即売会にて日本のお客様の関心やニーズを直接聞いたり、アパレル産業見学にて品質だけではなく、デザインや工夫された店頭ディスプレイの仕方などの習得にもつながった。来日した教員2名からは、帰国後に今回学んだことを学校で教える際の教訓にし、是非伝えていきたいと今後の洋裁指導や製作における積極的な声もあがった。</p> <p>今後、帰国した彼女達が日本で学んだことを活かして、同僚や生徒達にもその知識を広げ、先進国での販売により適した商品製作ができることが見込まれる。加えて、近い将来、習得したことから彼女達のアイデアでより高品質でデザイン性のある商品開発、製作ができていくと見込んでいる。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 教材を郵送しての洋裁技術確認および指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 洋服：3アイテム、小物：1アイテム</li> </ul> </li> <li>▪ 現地洋裁教師の日本での現場研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2016年1月8日～13日 教員2名</li> </ul> </li> <li>▪ 教材を郵送してのフォローアップ指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 洋服：5アイテム、小物：4アイテム</li> </ul> </li> </ul>		

#### ④ 環境保全活動事業

実施期間	通年																														
実施場所	リボン・京都 日本事務局																														
対象者	日本全国の着物保有者																														
従事者人数	国内作業従事者 27名																														
助成金額	-	助成元	-																												
支出額	-																														
事業内容	不要になった古着物の寄贈を募ることで、廃棄の際に輩出される CO2 軽減に貢献し、環境に配慮する。寄贈された着物は、種類別に仕分け保管し、必要に応じて選び出し、海外事業地での洋裁指導教材として活用。																														
成果	<p>会誌、イベントを通じて古着物の寄贈を呼びかけ、全国から多くの着物が届いた。前年度の新聞掲載の記事を見ての問い合わせも数多くあり、保管場所不足の為、今年も受付期間（1月と2月）を設けた。</p> <p>前年度から引き続き問合せや寄付をされた方々へ御礼状送付時に当会パンフレット、会誌、会員入会のご案内を同封し、今年度の会員数は前年度比13%増となった。</p> <p>作業中のボランティアメンバー</p> <p>寄付者述べ人数：229名</p> <table border="1"> <caption>&lt;2015年度 着物寄贈状況&gt;</caption> <tr> <td>○着物</td> <td>738点</td> <td>○喪服</td> <td>92点</td> </tr> <tr> <td>○夏着物(浴衣含む)</td> <td>142点</td> <td>○喪服帯</td> <td>53点</td> </tr> <tr> <td>○羽織</td> <td>408点</td> <td>○男物</td> <td>119点</td> </tr> <tr> <td>○帯</td> <td>370点</td> <td>○子供</td> <td>18点</td> </tr> <tr> <td>○襦袢</td> <td>152点</td> <td>○その他(反物含む)</td> <td>556点</td> </tr> <tr> <td>○コート</td> <td>203点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>2,851点</td> </tr> </table>			○着物	738点	○喪服	92点	○夏着物(浴衣含む)	142点	○喪服帯	53点	○羽織	408点	○男物	119点	○帯	370点	○子供	18点	○襦袢	152点	○その他(反物含む)	556点	○コート	203点					合計	2,851点
○着物	738点	○喪服	92点																												
○夏着物(浴衣含む)	142点	○喪服帯	53点																												
○羽織	408点	○男物	119点																												
○帯	370点	○子供	18点																												
○襦袢	152点	○その他(反物含む)	556点																												
○コート	203点																														
		合計	2,851点																												

#### (2) フェアトレード事業

##### ① ルワンダ・ガチュリロ職業訓練校とのフェアトレード事業

実施期間	年2回（6-9月、1-3月）		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市 ガチュリロ職業訓練センター		
対象者	訓練修了生 9名		
従事者人数	事業従事者3名（国内） 国内作業従事者27名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	151,801円（うち仕立て代：110,858円）		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>		
成果	<p>2013年より外務省日本NGO連携無償資金協力を受け、現在も同校で洋裁技術指導事業を実施しているが、1、2年目訓練修了生の習得した洋裁技術の維持向上のために、フェアトレード形式の指導を実施。</p> <p>6-9月、1-3月の2回、パターンや指示書、着物地等の必要材料を当会で準備・送付し、製作を依頼。その後、返送されてきた完成作品に対して洋裁指導責任者が評価を行い、評価結果をフィードバックすると同時に評価に応じて</p>		

	仕立て金を支払った。 <実施内容> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> <li>✓ 洋服：2アイテム、小物：6アイテム</li> </ul>
--	--

## ② ラオス・サバナケート県立職業訓練校とのフェアトレード事業

実施期間	年2回（6-9月、1-3月）		
実施場所	ラオス国サバナケート県 県立職業訓練校洋裁科		
対象者	同校洋裁科の生徒31名、教員5名		
従事者人数	事業従事者4名（国内3名、現地コーディネータ1名） 国内作業従事者27名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	404,477円（うち仕立て代：80,780円）		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者および現地教員が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼らの収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>		
成果	<p>2007年 外務省日本NGO連携無償資金協力を受け、サバナケート県立職業技術訓練校に洋裁科を設立。3年に渡り同校で洋裁技術指導事業を実施し2010年1月に事業を終了した。その後、訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のために、同校とフェアトレード形式の指導を継続しており、本年度も実施。</p> <p>6-9月、1-3月の2回、パターンや指示書、着物地等の必要材料を当会で準備・送付し、製作依頼。その後、返送されてきた完成作品に対して洋裁指導責任者の評価を行い、評価結果をフィードバックすると同時に評価に応じて仕立て金を支払った。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> <li>✓ 洋服：5アイテム、小物：4アイテム</li> </ul>		

## ③ ヨルダン・南シューナ郡とのフェアトレード事業

実施期間	-		
実施場所	ヨルダン・ハシミテ王国 バルカ県南シューナ郡		
対象者	アル・ジョーフア村、アル・ジャワスレ村の寡婦や未婚女性及び貧困層の女性とその家族、アル・ジャワスレ村の連携NGO8名（16~55歳）		
従事者人数	事業従事者4名（国内3名、現地コーディネータ1名） 国内作業従事者27名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	15,349円		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼らの収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>		
成果	<p>2010年外務省日本NGO連携無償資金協力を受け、三年に渡り洋裁技術指導事業を実施し、2013年3月に事業を終了した。その後、訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のために、フェアトレード形式の指導を継続しようとしたが、情勢から連絡がなかなかつかず、実施に至っていない。</p>		

#### ④ 東日本大震災被災者とのフェアトレード事業

実施期間	年2回（4-8月、9-3月）		
実施場所	リボン・京都 日本事務局		
対象者	東日本大震災の影響で京都に避難している被災者3名		
従事者人数	事業従事者3名（国内）		
助成金額	-	助成元	-
支出額	115,755円（うちお仕立て代：83,650円）		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼女らの収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>		
成果	<p>2013年より実施した東日本大震災の影響で京都に避難している被災者の方を対象とした洋裁ワークショップを2015年3月で終了し、フェアトレード形式の支援に変更した。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 洋服：7アイテム、小物：5アイテム</li> </ul> </li> </ul>		

#### (3) バザー事業

実施期間	通年 ※下記参照		
実施場所	※下記参照		
対象者	当会支援者および一般消費者		
従事者人数	国内作業従事者27名		
助成金額	500,000円 ※フェアトレード事業も含む	助成元	ソロプチミスト日本財団
支出額	1,951,044円		
事業内容	海外現地の洋裁訓練生や訓練修了生が製作した洋服や小物等をチャリティ展示即売会、バザー出店、ネット販売などの形式で販売し、市場で技術習得の成果を問う。収益は、訓練生のお仕立て代など活動資金に充当する。		
成果	<p>前年度を若干上回る売上をあげた。 今年度はジェイアール京都伊勢丹でのチャリティ展示即売会を初めて開催することができたのに加え、企業からの注文も受けることができた。</p>		



ジェイアール京都伊勢丹での  
チャリティ展示即売会

<実施内訳>			
	販売場所	期 間	売 上
展示即売会 チャリティ	リボーン・京都販売店 三田村 (祇園祭・年末チャリティセール含む)	通年	1,404,470 円
	東京イベント会場 ※ルワンダ大使館協力	9-10月	97,000 円
	ジェイアール京都伊勢丹	5月	1,024,370 円
	高島屋京都店	1月	921,150 円
委託	瓢樹	通年	13,000 円
ネット	オンラインショップ	通年	96,800 円
バザー	フランクフルト友の会	7月	19,000 円
	パシイワ愛知	2月	135,100 円
	奈良木立	3月	86,100 円
その他	天香堂	通年	20,000 円
	小堀 (株)	通年	45,250 円
	国際協力データサービス	11月	50,800 円
	MIN コンサルタント	2月	69,504 円
	事務局などでの売上	通年	543,262 円
売上総額		4,525,806 円	

#### (4) 人材育成事業

実施期間	通年		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局		
対象者	1名		
従事者人数	事業従事者3名(国内)		
助成金額	-	助成元	-
支出額	41,180 円		
事業内容	国際協力分野における若手人材育成および NGO による国際協力拡充を目指しインターンを育成する。		
成果	主に、広報・啓発、支援者管理およびバザー事業の業務(広報・販売戦略も含む)を行っている。		

#### (5) 啓発及び広報事業

##### ① 広報支援事業(「Panasonic NPOサポート ファンド for アフリカ 2015」)

実施期間	2015年1月1日~2015年12月31日		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局他		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者3名(国内)		
助成金額	855,940 円	助成元	パナソニック株式会社
支出額	912,167 円		
事業内容	前年に強化した広報ツール基盤を活用・発展させ、より多くの人の当会活動への理解を大きく促進すると同時に、安定的な経営基盤確保につなげる。また合わせて、実施および今後持続していくための組織内の広報人材育成も進める。		
成果	- 現地および国内にて、人々を巻き込んだ形での展示即売会や講演会、トークイベントの開催		

	<p>チャリティ展示即売会 6回</p> <p>総会・事業報告会、イベント（ルワンダ事業視察含む）8回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- より多くの人に到達可能な形態での情報発信へのアプローチ</li> <li>- 動画製作とホームページやイベントでの動画上映</li> <li>- 商品購入を促進するための広報強化</li> <li>- オンラインショップ商品掲載 32 アイテム、95 点</li> <li>- 通販カタログチラシ配布 7 アイテム、22 点</li> <li>- 上記売上：2014 年 2 件（2 点）→2015 年 9 件（13 点）</li> <li>- 持続性かつ発信力をつけるための、組織内の広報人材育成</li> <li>- ホームページの更新、SNS 投稿、オンライン・通販関係、広報方針や手順の作成</li> </ul>
--	---

② 広報支援事業（「Panasonic NPO サポート ファンド for アフリカ 2016」）

実施期間	2016 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日（以下は、3 月 31 日までの実績）		
実施場所	リボン・京都 日本事務局他		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者 3 名（国内）		
助成金額	752,460 円	助成元	パナソニック株式会社
支出額	293,897 円（3 月 31 日までの実績）		
事業内容	積極的な広報活動が一時的なものとならないよう、広報人材を雇用し、従来取り組んできた広報活動を継続すると同時に、団体内での広報体制を整え、今後も継続的に広報活動を実施、発展していける基盤作りを目指す。		
成果	<p>&lt;2016 年 3 月 31 日までの実績&gt;</p> <p>広報担当非常勤スタッフを 1 名雇用し、従来の広報活動を行うと同時に、広報業務マニュアルの整備を進めている。</p>		

③ その他啓発・広報事業（京都チャリティ・ファンラン、支援者対応含む）

実施期間	通年		
実施場所	※下記参照		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業従事者 4 名（国内） 国内作業従事者 27 名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	238,694 円		
事業内容	チャリティを目的とした一般の方対象のマラソン大会の運営を NICCO 他 NGO 団体と共に行う他、当会事業活動により理解を深めてもらえるよう講演や展示会への出展を行う。		
成果	<p>例年通りの京都チャリティ・ファンランに加え、大学生や一般の方との対面による交流会や講演の機会を多くいただくこととなり、新たな支援者拡大につながっている。</p> <p>a. <u>5 月 31 日(日) 京都チャリティ・ファンラン</u> 参加者：1,312 名 「第 29 回京都チャリティ・ファンラン」に参加。実行委員長 久保氏より 800,000 円の寄付金をいただいた。</p> <p>b. <u>9 月 15 日(火)～24 日(木) 活動パネル展</u> 京都府国際センターにて、当会の活動パネルおよび作品を展示。</p> <p>c. <u>11 月 4 日(水) 関西 NGO 協議会&amp;JICA 研修員 訪問</u> 理事長による当会活動紹介、洋裁責任者による着物～洋服へと変わるプロセスの説明、マネージャーよりルワンダでの洋裁事業の説明を行った。Q&amp;A では、洋裁事業やアフリカの他地域での事業の可能性など多くの質問を受け、関心の高さが伺えた。</p>		

## 2. その他の事業

実施期間	通年		
実施場所	バザー事業と同場所、リボン・京都 日本事務局		
対象者	当会支援者および一般消費者		
従事者人数	事業従事者 4 名（国内） 国内作業従事者 27 名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	98,449 円		
事業内容	日本国内のうちわやネクタイ、ルワンダ珈琲や紅茶など国外の産物を購入販売や仕立てを行い、活動資金に充てる。		
成果	仕入事業、お仕立て事業ともに前年と比較して売上が減る結果となった。		
	科目	期間	売上金額
	商品売上(スカーフ、ネクタイ等)	通年	117,800 円
	お仕立て売上	通年	139,500 円
	売上総額		257,300 円

### III. 会務報告

#### 1. 会員状況 (2016年3月31日現在)

	期首	増	減	期末
正会員	52名	2人	2名	52名
賛助会員	69名	17名	4名	82名
ボランティア会員	3名	3名	0名	6名

正会員・ボランティア会員活動状況：

活動日： 毎週火曜日、金曜日 (年間通算 86日)

活動場所： 日本事務局

活動内容： 寄贈着物の仕分け・保管。海外洋裁指導に向けた資機材準備、着物の選び出し、着物のほどこ、洗い、干し、アイロンがけ、サンプル教材製作、付属教材準備、海外現地完成作品の品質チェック、手直し、ボタン、タグ付け、検針等の販売前最終チェック、チャリティバザー出品用手芸品製作、チャリティバザー展示準備、接客、販売、その他事務局業務補助。

#### 2. 役員状況 (2016年3月31日現在)

	氏名	常勤／ 非常勤	現職・所属	任期
理事長	小玉昌代	常勤	(特活)リボン・京都 理事長 (社)日本国際民間協力会 理事	2014年6月1日～2016年5月31日
理事	中島茂代	常勤	(特活)リボン・京都 洋裁指導責任者	2014年6月1日～2016年5月31日
理事	小野了代	非常勤	(社)日本国際民間協力会 理事長	2014年6月1日～2016年5月31日
理事	都留良子	非常勤		2014年6月1日～2016年5月31日
理事	渋谷みち子	非常勤		2014年6月1日～2016年5月31日
理事	白井幸則	非常勤	エールコーポレーション株式会社 代表取締役	2015年5月29日～2017年5月31日
監事	山元直貴	非常勤	公認会計士	2015年5月29日～2017年5月31日

#### 3. 職員状況 (2016年3月31日現在)

	有給専従職員	有給非専従職員 (インターン含む)	無給専従職員
国内	1名	2名	1名
海外	2名	11名	0名

海外：ラオス有給非専従現地職員：1名      ヨルダン有給非専従現地職員：1名

ルワンダ有給非専従現地職員：9名

#### 4. 総会および理事会

##### <総会>

###### 2015年度 通常総会

- 日時： 2015年5月29日（金）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- 出席者： 39名（内27名は委任状出席）
- 審議事項： ① 2014年度 事業報告・会務報告 承認の件  
② 2014年度 決算書類 承認の件  
③ 新規役員選任の件  
④ 監事辞任に伴う後任監事選任の件
- 報告事項： 今年度の活動予定

##### <理事会>

###### 2015年度 第1回理事会

- 日時： 2015年5月13日（水）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事5名（内2名は書面表決）  
監事1名欠席
- 審議事項： ① 2015年度 通常総会開催 承認の件  
② 2014年度 事業報告・会務報告 承認の件  
③ 2014年度 決算書類 承認の件  
④ 就業規則の追加事項の件  
⑤ 新規役員選任の件  
⑥ 監事辞任に伴う後任監事選任の件
- 報告事項： 今年度の活動予定

###### 2015年度 第2回理事会

- 日時： 2015年10月14日（水）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事5名、監事1名
- 協議事項： 団体の今後の方向性について

###### 2015年度 第3回理事会

- 日時： 2016年3月25日（金）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事5名、監事1名
- 審議事項： ① 2016年度 事業計画案  
② 2016年度 予算案
- 協議事項： 2015年度 事業状況と決算見込み

#### 5. 会誌発行

「News! 甦 vol.25」 発行：2015年7月1日

- 内容：
- 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトフェーズ2（ルワンダ共和国）進捗状況
  - ルワンダ事業視察報告
  - ラオス フォローアップ事業への助成決定
  - Panasonic NPO サポートファンド for アフリカ 2014 結果報告
  - 祇園祭チャリティセール&事業報告会 開催のご案内
  - チャリティバザーのご報告
  - 2014年度 活動計算書

「News ! 甦 vol. 26」 発行：2015年12月1日

- 内容：
- 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトフェーズ2（ルワンダ共和国）修了
  - 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトフェーズ3（ルワンダ共和国）開始
  - 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトミシンメンテナンス&ICTマーケティング研修 実施報告
  - リボーン・京都 寄付キャンペーンのご案内
  - 企業のとの連携事例紹介
  - 三田村店年末チャリティセール開催のご案内
  - チャリティバザーのご報告
  - カタログ通販 開始のご案内

以上